

講義コード	11C0125900	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	青才 高志	開講期	第1期
科目名	景気循環論 1					青才 高志		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	就職・賃金等、「景気」動向、および、その変化、すなわち「景気循環」は、私達の生活に大きな影響を及ぼしている。本講義では、この、経済の動態、経済の諸要素の集合が織りなす「景気循環」の理論を説明する。								
到達目標	資本主義経済における景気循環の原理・法則の基本を説明することができる。また、そのことは、景気循環は資本主義における経済諸法則の合成結果であるが故に、資本主義の経済諸法則の基本を説明できるということを意味する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	各回の授業で扱った内容や、次回の授業で扱う予定の内容について、教科書及び参考書を用いて、また、図書館やインターネット等を利用して予習・復習を行う。授業外で計60時間以上の学修を行うこと。								
授業計画	【第1回】はじめに、現下日本経済の「景気」動向 【第2回】景気循環論の方法 【第3回】景気循環の歴史的概観 【第4回】キチン・ジュグラー・コンドラチェフ 【第5回】好況期の資本蓄積（1） 【第6回】好況期の資本蓄積（2） 【第7回】好況期の資本蓄積（3） 【第8回】好況期の信用（1） 【第9回】好況期の信用（2） 【第10回】好況期の信用（3） 【第11回】恐慌期（1） 【第12回】恐慌期（2） 【第13回】不況期（1） 【第14回】不況期（2）、景気循環の周期性 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	学期末試験により評価する。								
フィードバックの内容	試験の解答等の解説を Webclass にアップロードする。								
教科書									
指定図書									
参考書	『恐慌論』宇野弘蔵（岩波文庫）2010、『新3版 現代経済の解説』SGCIME 編（御茶の水書房）2017年新刊								
教員からのお知らせ	(1)関連する科目なので、出来るだけ、第2期の景気循環論2も受講することが望ましい。 (2)……@rissho-univ.jp に送信されたE-mail が手元で使っているスマホ・PC等に転送されるように設定しておくこと。なお、スマホ等のE-mail address が変わった場合には、忘れないで転送設定の変更をしておくこと。								
オフィスアワー	本授業に関する、質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内で対応する。 また、メールによる質問・相談も受け付ける。 E-mail aosai@shinshu-u.ac.jp。 なお、青才と連絡を取りたい場合には、Webclass を通じてではなく、上記E-mail address 宛に直接E-mail すること。								
その他									